

ミリ波注入同期型周波数逓倍器の 共振インピーダンス最適化

◎桂木 真希彦, 近藤 智史,岡田 健一, 松澤 昭

東京工業大学 大学院理工学研究科

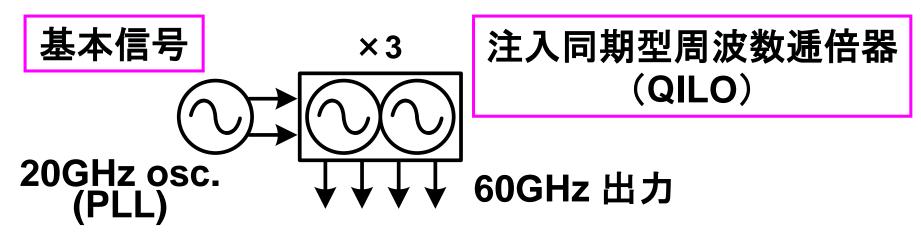


発表内容

- 研究背景•目的
- ・注入同期型周波数逓倍器の構成
- ・共振インピーダンス最適化
 - -スイッチトキャパシタ
 - ーインダクタ
- ・シミュレーション結果
- ・まとめ

研究目的

- 60GHz帯局部発振器 [1]
 - -20GHz PLL + 60GHz QILO
 - 注入同期により位相雑音を低減
 - 位相雑音性能はPLLに依存

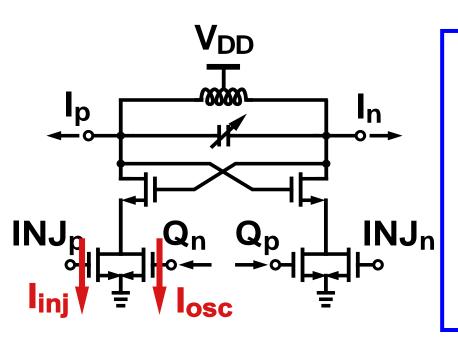




広ロックレンジ、低消費電力なQILOが必要

QILOの設計方針

・ Ioscを削減することによって 広ロックレンジ化と低消費電力化を同時に達成



ロックレンジ [2]

$$\omega_0 - \omega_{inj} = \frac{\omega_0}{2Q} \cdot \frac{I_{inj}}{I_{osc}}$$

ω₀: 発振周波数

 ω_{ini} : 注入信号の周波数 Q:共振器のQ値

Iosc: 発振に必要な電流

I_{ini}:注入信号による電流



共振インピーダンスを大きくして 小電流で大振幅をとれるような設計

共振インピーダンス

L, CのQ値を用いて、共振インピーダンスR_pを表す

$$Q_L = \frac{1/\omega L_p}{1/R_L} = \frac{R_L}{\omega L_p}$$

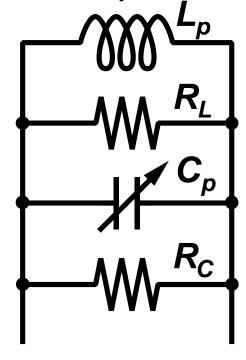
$$Q_C = \omega C_p R_C$$

$$\therefore \mathbf{R_p} = \mathbf{R_L} / / \mathbf{R_C} = \left(\frac{1}{\mathbf{Q_L} \omega \mathbf{L_p}} + \frac{\omega \mathbf{C_p}}{\mathbf{Q_C}} \right)^{-1}$$

$$= \left(\frac{1}{Q_L} + \frac{\omega^2 L_p C_p}{Q_C}\right)^{-1} \omega L_p \approx (Q_L // Q_C) \omega L_p$$



QcとLoの最適な設計値を見積もる



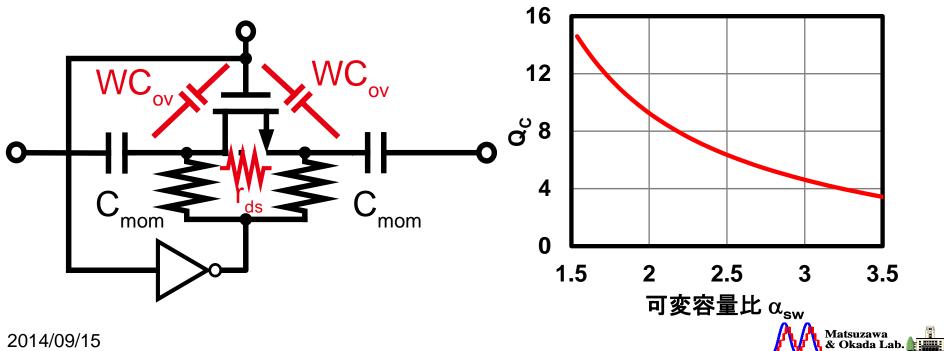
Pursuing Excellence

スイッチトキャパシタ

- ON容量 $C_{sw,on} \approx \frac{C_{mom}}{2}$
- OFF容量 $C_{sw,off} \approx \frac{WC_{ov}}{2}$

可変容量比 $\alpha_{sw} \approx \frac{C_{mom}}{WC_{ov}}$

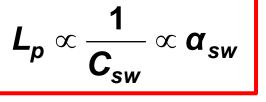
$$Q_{c} \propto \frac{1}{r_{ds}} \propto W \propto \frac{1}{\alpha_{sw}}$$

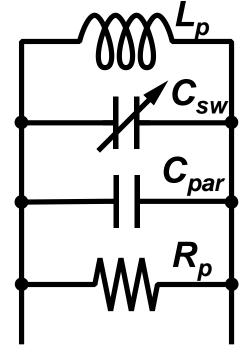


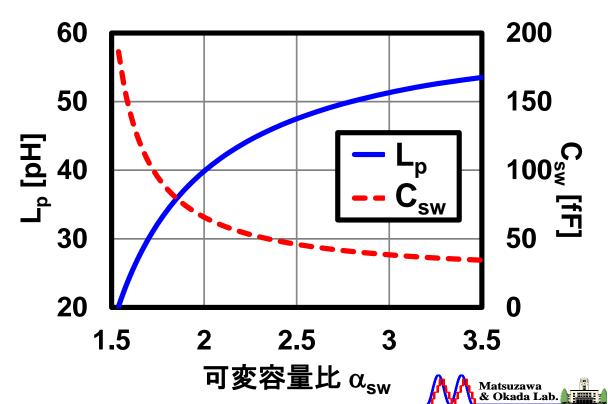
共振器の設計

- 発振周波数 f $2\pi\sqrt{L_{p}(C_{sw}+C_{par})}$ 固定
- 可変容量比 $lpha_{\sf sw}$ を大きくすれば インダクタを大きく設計できる



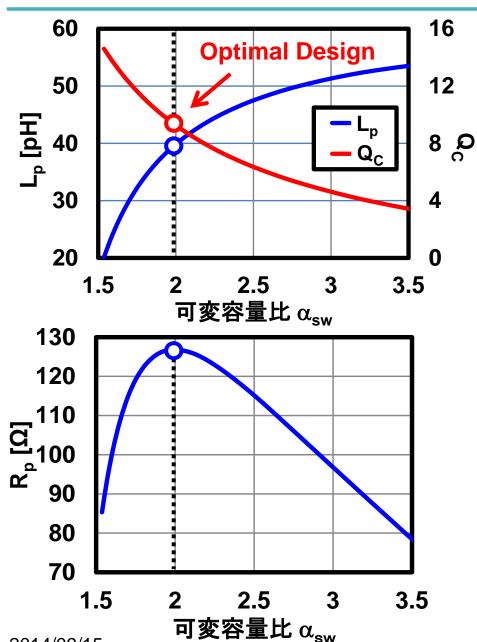






Pursuing Excellence

提案する最適化手法



$$R_p \approx (Q_L \parallel Q_C) \omega L_p$$

$$L_{p} \propto lpha_{sw}$$

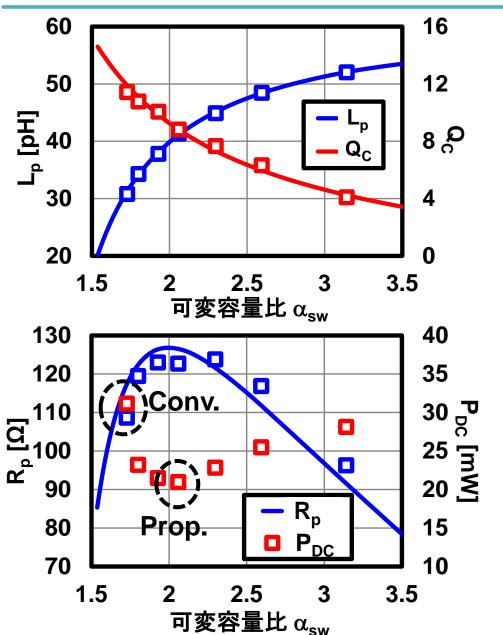
$$Q_{\rm C} \propto \frac{1}{\alpha_{\rm sw}}$$



最適な共振器の 設計値が求められる



シミュレーション結果



・ 従来の設計手法に比べ 消費電力を33%削減

=ロックレンジは1.5倍

ロックレンジ [2]

$$\omega_0 - \omega_{inj} = \frac{\omega_0}{2Q} \cdot \frac{I_{inj}}{I_{osc}}$$

 ω_0 : 発振周波数

 ω_{inj} : 注入信号の周波数

Q: 共振器のQ値

I_{osc}: 発振に必要な電流

I_{ini}:注入信号による電流

[2] B.Razavi, JSSC 2004





- ・ QILOの広ロックレンジ・低消費電力化のために、 共振インピーダンスを最適化する手法を提案した
- ・提案手法により、従来手法に比べ33%消費電力を 削減し、ロックレンジを1.5倍に拡大することができた